



クールフライヤーCFT-7 設置・運用トラブルについての Q&A

2024 年 10 月 11 日 クールフライヤー株式会社

Q: 給水がされません。

A: ①本体を冷却するための給水元バルブや既存水道管接続後の分岐バルブなどが閉まっていないか、ご確認をお願いいたします。
②また、ストレーナーなど給水系が配管内のカスで詰まっていないか？ご確認ください。

Q: 水が本体より溢れてしまいます。

A: クールフライヤーは、排水系が塞がってしまった場合、本体上部の「水漏れ防止緊急排水用スリット」から水が出る構造になっています。

原因となりやすいのは、以下のような状態です。

- ・Φ12透明排水ホースが折れ曲がって排水を塞いでいる
- ・排水ホース先端が塞がっている
- ・排水ホースが弛んでいる
- ・排水ホースが、排水口よりも高い位置を經由している

対応策としては、給排水付属部品のΦ12用エルボを使用するなどして、排水が流れやすいようにして下さい。

それでも排水がされない場合は、水槽内ドレン配管内に異物が入り込んだ等のトラブルが考えられますので販売店様もしくは弊社へお問い合わせください。

Q: 水道がない場所でも使用できますか？

A: 給水用タンクを高い位置に置いて代用することが可能ですが、本体注水電磁弁入口についているΦ1mmのオリフィスを取外す必要があります。弊社へご連絡ください。

Q: 油層から臭いがします。

A: フライヤーにおいては様々な条件によりますが、底部に溜まった残滓と水分を放置すると腐敗臭を発生させることがあります。(腐敗臭は清掃時に感じます。) これを避けるためにも油槽の清掃は毎日行うようにしてください。

Q: 油槽の壁面に焦げ付きが生じてしまう。

A: 油槽の壁面に焦げ付きが生じた場合は、耐熱樹脂製のスクレイパー(平面であればステンレス製でも問題ありません)などで壁面の汚れを容易に落とすことができます。
焦げ付きを早期に落として頂くと、油槽の清掃はラクになり、油の劣化進行も抑えられますのでおすすめです。

Q: ヒーターのお掃除はどうすれば良いですか。

A: 普段の清掃では、ヒーターの温度が下がった状態で、キッチンペーパーなどで油や揚げカスを拭き取っていただくと焦げ付きが少なく、熱効率も下がりにくくなります。
なお、お掃除の方法については、取り扱い説明書 P11「清掃について」や、ホームページの「導入店の方々へ」(<https://coolfryer.co.jp/guide/>)に掲載の、「クールフライヤーCFT-7 ヒーター・油槽の清掃について」もあわせてご参照ください。

Q: クールフライヤー用の油回収装置(CP-A7)が吸引しません。

A: ホームページの「導入店の方々へ」(<https://coolfryer.co.jp/guide/>)
に掲載の、「CP-A7 吸引が上手くいかない時の対処方法」をごらんください。

以上